

(臨床研究に関する公開情報)

公立陶生病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] 関節リウマチ関連間質性肺炎(RA-ILD)における線維化の検討

[当院研究責任者] 部署名 呼吸器・アレルギー疾患内科 氏名 片岡 健介

[研究の背景] 関節リウマチ(RA)は関節滑膜の炎症を主体とする自己免疫疾患ですが、肺病変を高頻度に合併します。特に間質性肺疾患(ILD)は予後不良因子として知られています。RA-ILDの病理組織像は通常型間質性肺炎(UIP)パターンや非特異性間質性肺炎(NSIP)パターンなど多彩な像を呈しますが、その線維化過程の詳細は明らかになっていません。

[研究の目的] RA-ILD患者の肺組織における線維化、特に膠原線維の形成過程と分布様式を明らかにし、IPFやNSIPとの違いを明らかにすることを目的としています。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

関節リウマチに伴う間質性肺疾患(RA-ILD)、特発性肺線維症(IPF)、非特異性間質性肺炎(NSIP)の患者さんで、2008年1月から2024年12月の間に公立陶生病院で外科的肺生検を受けられた方

●研究期間： 2025年1月1日から 2029年12月31日まで

●利用する検体、カルテ情報

(検体) 保存された間質性肺炎の肺組織

(カルテ情報)

- 患者背景(年齢、性別、喫煙歴)
- 関節リウマチに関する情報(罹病期間、治療歴)
- 呼吸機能検査結果
- 胸部CT画像所見
- 治療経過や予後に関する情報

●利用する検体、カルテ情報の管理

当院で検査し、保存された肺組織標本を用いて、名古屋市立大学病院で追加の検査を行います。また、カルテ情報を利用して基本的な病理組織評価および特殊染色による評価を行います。

[研究組織]

この研究は、名古屋市立大学病院及び愛知医科大学と共同で行われます。研究で得られ

た情報は、共同研究機関内で利用されることがあります。

・研究代表者（研究の全体の責任者）：

公立陶生病院 呼吸器・アレルギー疾患内科 片岡健介

名古屋市立大学 脳神経科学研究所 神経発達症遺伝学分野 金澤智

愛知医科大学 呼吸器・アレルギー内科 山野泰彦

[個人情報の取扱い]

研究で利用する検体や情報には個人情報が含まれますが、お名前、住所など、個人を直ちに判別できる情報は削除し、研究用の番号を付けます。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。

検体や情報は、当院の研究責任者、検体や情報の提供先である名古屋市立大学 金澤智及び愛知医科大学 山野泰彦が責任をもって適切に管理いたします。

[問い合わせ先]

公立陶生病院

所属部署 呼吸器・アレルギー疾患内科 氏名 片岡健介

電話 0561-82-5101 FAX 0561-82-9139